

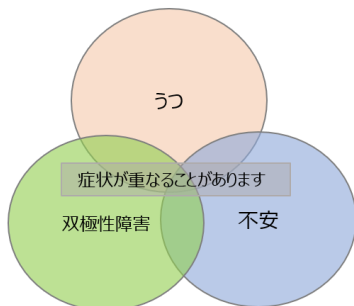
精神科で使われる薬の種類

精神科では、症状に合わせてさまざまな種類の薬が使われます。
それぞれ役割が異なり、症状に応じて使い分けられます。

📖 主な精神科の薬

精神症状の重なり (イメージ)

症状ははっきり分かれていないことがあります



そのため、薬も組み合わせて使われることがあります

- **抗精神病薬**

幻覚や妄想、強い不安や興奮などの症状を和らげます。

- **気分安定薬**

気分の大きな波を整えます。

- **抗うつ薬**

気分の落ち込みや意欲の低下など、うつ症状を改善します。

- **抗不安薬**

強い不安や緊張を和らげます。

- **睡眠薬**

寝つきが悪い、途中で目が覚めるなどの睡眠の問題を改善します。

📖 治療の進め方

精神疾患の治療では、薬物療法だけでなく**心理療法**や**生活環境の調整**なども組み合わせて行われます。
また、同じ病名でも症状や体質は人それぞれ異なるため、薬の種類や量は患者さんに合わせて調整されます。

👤 まとめ

薬について不安なことや疑問があれば、主治医や薬剤師にご相談ください。

次回は『抗精神病薬』について紹介します▶